



Y.Machida

THE HANSHIN SPRING JUMP

第27回 阪神スプリングジャンプ (J・GII)

1着	2着	3着	4着	5着
本賞 45,000,000円	18,000,000円	11,000,000円	6,800,000円	4,500,000円
付加賞 280,000円	80,000円	40,000円		



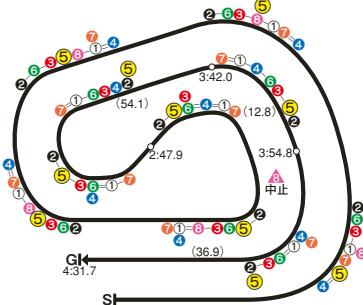
レース映像は
コチラでご覧
いただけます。

4歳以上、除未出走馬および未勝利馬
負担重量 4歳59kg、5歳以上60kg、牝馬2kg減、J・G I競走1着馬2kg増、J・G II競走1着馬1kg増

2025.3.15 阪神 小雨・良 芝3900m (混合)

種	馬名	性	齢	斤量	騎手	タイム	コーナー	平均	馬体重	単勝	オッズ	調教師
						(着差)	通過順位	ハロン (増減)				
1	⑤ ヴェイエルネビュラ	母	7	60	五十嵐雄祐	4:31.7	2-1-2-2	13.9	498(+2)	13.9(4)	大竹正博(美浦)	
2	② ジューンベロシティ	牡	7	61	森 一馬	アツマ	1-2-1-1	13.9	468(-8)	2.3(1)	武 英智(栗東)	
3	③ ネビーワーム	牡	7	60	小牧加矢太	5	3-4-3-3	14.0	534(+8)	4.8(3)	佐々木昌三(栗東)	
4	⑥ エコロデュエル	牡	6	60	草野太郎	%	4-5-4-4	14.0	478(-4)	2.3(2)	岩戸孝樹(美浦)	
5	⑦ クラップサンダー	牡	6	60	黒岩 悠	大差	7-7-7-6	14.1	464(-4)	96.6(8)	牧田和弥(栗東)	
6	① メイショウアツイタ	牡	7	60	難波剛健	クビ	6-6-6-5	14.1	502(-6)	76.2(7)	高橋義忠(栗東)	
7	④ マテンロウジョイ	牡	5	60	西谷 誠	大差	4-3-5-6	14.4	468(±0)	20.6(6)	四位洋文(栗東)	
中止	⑧ グルーヴビート	牡	7	60	中村将之			492(±0)	26.2(6)		中村直也(栗東)	

単勝①1,390円(4%)、複勝②250円(4%)、②120円(2%)、③180円(3%)、枠連:発売なし
馬連②-⑤1,430円(4%)、ワイド②-⑤360円(4%)、③-⑤500円(6%)、②-③220円(3%)
馬単③-②4,380円(14%)、3連複②-③-⑤1,350円(3%)、3連単⑤-②-③14,730円(40%)



上り 1マイル : 1:43.8 上り : 800m 600m
49.7 - 36.9

アラカルト

- 五十嵐雄祐騎手は阪神スプリングジャンプ初勝利。この勝利により、障害重賞全6場制覇を達成(中京競馬場では通常障害重賞は実施されていないため記録には含めない)。JRA重賞は本年初勝利、通算11勝目
- 大竹正博調教師は阪神スプリングジャンプ初勝利。JRA重賞はソーヴァリアントで制した22年チャレンジCに続く通算18勝目
- ロードカナロア産駒はJRA重賞通算83勝目
- 7歳馬の勝利は23年ジェミニキングに続く通算6回目
- 駆馬の勝利は23年ジェミニキングに続く通算2回目
- グルーヴビートは2周目4号障害(いけ垣)着地時にまずき騎手が落馬したため競走中止

ヴェイルネビュラ Veil Nebula

驕 鹿毛 2018.2.18生
北海道安平町 ノーザンファーム生産
馬主・吉田勝己氏 美浦・大竹正博厩舎
馬名意味・網状星雲

ユアアンミーUSA系 F4-g	
ロードカナロア 鹿毛 2008	キングカメハメハ 鹿毛 2001 Kingmambo
	マンファスIRE Storm Cat
リングネブラ 黒鹿毛 2009	レディプラッサム 鹿毛 1996 サラタガデューUSA
	ハーツクライ 鹿毛 2001 サンデーサイレンスUSA アイリッシュダンス
	ユアアンミーUSA 栗毛 1995 Marquetry Archimillionnaire

5代までのインブリード : Mr.Prospector S 4×M5 Secretariat S 5×M5

INTERVIEW

伊藤隆行厩舎長(ノーザンファーム早来)

とにかく手のかからない馬です

一昨年の夏、そして去年の夏と牧場で管理をさせてもらいました。駆馬になったせいもありますが、とにかく手のかからない馬で、厩舎にいたほとんどのスタッフが一度はこの馬に跨ったはずです。昨年夏は障害馬として頭角を現してきた時期ですが、トラブルもなく送り出せたことや、大竹厩舎とノーザンファーム天栄との連携がこの勝利に繋がったと思います。



リニューアルオープン後に行われた最初の障害競走・阪神スプリングジャンプの双璧と目されたのは2頭の重賞ウイナー。これまで4つの勲章を獲得しているジューンヘロシティと、暮れの中山大障害で2着に食い込んだ京都ジャパンSの覇者エコロデュエルが同じオッズ(単勝2・3倍)で1、2番人気を分け、レースは「強」の色に染められた。とはいえ、中山グランプリの前哨戦を制したのは4番人気のヴェイルネビュラ。キャラリアを重ねつつ、地力に磨きをかけてきた7歳馬が嬉しい重賞初制覇を果たした。

軽快なダッシュで飛び出したジュンベロシティが先手を奪取。エコロデュエルが先手を奪取。エコロデュエルも追撃にかかるが、なかなか差を詰められず、レースは前の2頭の一騎打ちに。4コーナーからゴールまで続いた熾烈な追い比べの重配は、アタマ差でヴェイルネビュラにあがつた。

ロードカナロア産駒の本馬は平地時代に新馬戦、ジュニアCと2勝を記録。5歳時の秋に障害へ転向すると入障初戦をいきなり快勝、昇級2戦目のオーブン戦でもレコード勝ちを飾り、障害馬としての資質の高さを見せつけた。その後、東京ジャンプSはジューンベロシティに5馬身余り離された3着不利が重なった中山大障害も大差の5着に敗れたが、この日は着実な進境が窺える走りで鮮やかに変身。混戦ムードが漂う春の王座を巡る争いにまた1頭、楽しみな新星が加わった。

父ロードカナロア

北海道新ひだか町 ケイアイファーム生産 中央、香19戦13勝(香港スプリントG12回、安田記念G1、スプリングターズS G1 2回、高松宮記念G1)、年度代表馬、最優秀短距離馬2回、14年から供用。20~24年日本リーディング2位
〔代表産駒〕アーモンドアイ(ジャパンC G1 2回、ドバイターフ・首G1、天皇賞(秋)G1 2回、桜花賞G1、秋華賞G1、ヴィクトリアマイルG1)、サートゥルナーリア(皐月賞G1、ホープフルS G1)、ダノンスマッシュ(香港スプリントG1、高松宮記念G1)、バンサラッサ(ドバイターフ・首G1、サウジC・沙G1)、ペラジオオペラ(大阪杯G1)、ステルヴィオ(マイルチャンピオンシップG1)、ファストフォース(高松宮記念G1)、ブレイディヴィーグ(エリザベス女王杯G1)、コスタノヴァ(フェブラリーS G1)、他に重賞勝ち馬多数

母リングネブラ

北海道安平町 ノーザンファーム生産 中央23戦3勝

ネプロシティ(17 牝父ハービンジャーGB)中央8戦0勝、地方19戦1勝
ヴェイルネビュラ 本馬(18 駆父ロードカナロア)中央16戦2勝(ジュニアC・L)、障害7戦3勝(阪神スプリングジャンプJ-GII、東京ジャンプS J-GIII 3着)獲得総賞金130,419,000円

メイプルリッジ(19 牡父キングカメハメハ)中央13戦5勝(スレイブニルS O-P、是政S、香取特別、ブラジルC・L2着)④
エビメテウス(20 牡父モーリス)中央6戦0勝 ④
(21 流産)
エルバステラ(22 牝父ナダルUSA)中央4戦0勝 ④
ルクリーシア(23 牡父ロードカナロア)
(24 牡父ホットロッドチャーリーUSA)

祖母ユアアンミーUSA

北米5勝(フォワードギャルS G3、ダヴォナデイルS G2 2着、ノーブルダムゼルH G3 2着、カーディナルH G3 3着)、04年輸入、16年死亡

ミクロコスモス(06 牡父ネオユニヴァース)中央4勝(中山スプリングプレミアム、大倉山特別、阪神ジュベナイルフィリーズJn I 3着)、サルファーコスモス(エルフィンS・L)、コズミックフォース(プリンシパルS O-P、京成杯GIII 2着、日本ダービーG1 3着)の母
リングネブラ(09 前出)

ウェスタークランド(12 駆父ネオユニヴァース)中央6勝(アンタレスS GIII、チャンピオンズC G1 2着、シリウスS GIII 2着2回)、地方0勝(ダイオライト記念Jn II 2着、東京大賞典G1 3着2回、浦和記念Jn II 3着)

春の障害王座争いに7歳の新星現る

リニューアルオープン後に行われた中山大障害の3着馬ネビーリーが、3番手に続き、上位人気の3頭が前に固める形で序盤のレースは進む。一方、スタートで立ち遅れたヴェイルネビュラと五十嵐雄祐騎手のコンビは後方を追走。しかし向正面から徐々にポジションを上げていき、1周目スタンド前の連続障害を飛越後、離れた2番手に進出した。

中盤のタスキコースをへて順回りの2コーナーに差し掛かると、五十嵐騎手は先頭に並びかけてブレッシャーをかける。ジューンヘロシティは譲らずに応戦、ネビーリー、エコロデュエルも追撃にかかるが、なかなか差を詰められず、レースは前の2頭の一騎打ちに。4コーナーからゴールまで続いた熾烈な追い比べの重配は、アタマ差でヴェイルネビュラにあがつた。

ロードカナロア産駒の本馬は平地時代に新馬戦、ジュニアCと2勝を記録。5歳時の秋に障害へ転向すると入障初戦をいきなり快勝、昇級2戦目のオーブン戦でもレコード勝ちを飾り、障害馬としての資質の高さを見せつけた。その後、東京ジャンプSはジューンベロシティに5馬身余り離された3着不利が重なった中山大障害も大差の5着に敗れたが、この日は着実な進境が窺える走りで鮮やかに変身。混戦ムードが漂う春の王座を巡る争いにまた1頭、楽しみな新星が加わった。

ユエルが2番手、3番人気に支持された中山大障害の3着馬ネビーリーが、3番手に続き、上位人気の3頭が前に固める形で序盤のレースは進む。一方、スタートで立ち遅れたヴェイルネビュラと五十嵐雄祐騎手のコンビは後方を追走。しかし向正面から徐々にポジションを上げていき、1周目スタンド前の連続障害を飛越後、離れた2番手に進出した。

中盤のタスキコースをへて順回りの2コーナーに差し掛かると、五十嵐騎手は先頭に並びかけてブレッシャーをかける。ジューンヘロシティは譲らずに応戦、ネビーリー、エコロデュエルも追撃にかかるが、なかなか差を詰められず、レースは前の2頭の一騎打ちに。4コーナーからゴールまで続いた熾烈な追い比べの重配は、アタマ差でヴェイルネビュラにあがつた。

ロードカナロア産駒の本馬は平地時代に新馬戦、ジュニアCと2勝を記録。5歳時の秋に障害へ転向すると入障初戦をいきなり快勝、昇級2戦目のオーブン戦でもレコード勝ちを飾り、障害馬としての資質の高さを見せつけた。その後、東京ジャンプSはジューンベロシティに5馬身余り離された3着不利が重なった中山大障害も大差の5着に敗れたが、この日は着実な進境が窺える走りで鮮やかに変身。混戦ムードが漂う春の王座を巡る争いにまた1頭、楽しみな新星が加わった。